

# サステナブル・レポート

## 建物概要

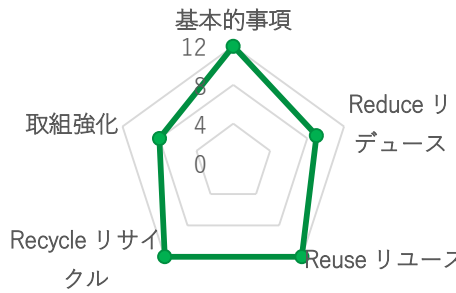
建築物所有者等	株式会社プラスチック
建築物名称	東京都〇〇区〇〇 1 - 2 - 3
建物延床面積	83,951 m <sup>2</sup>
主な用途区分	①事務所

## 廃棄物及び資源物の発生量と再利用率

実績年度	発生量	再利用率	再利用率
令和 4 年度	331.7トン	178トン	53.7%

## 取組実施状況

基本的事項	評価	S
Reduce リデュース	評価	A
Reuse リユース	評価	S
Recycle リサイクル	評価	S
取組強化	評価	B
	総合評価	A



## ベンチマーク評価

発生量評価	再利用率評価	取組評価	総合レベル
D	C	A	C

### 発生量評価

廃棄物の発生抑制はやや不十分です。水準を下回っていますので、まずは、廃棄量の多い品目から取組の実施をご検討ください。

### 再利用率評価

リユース・リサイクルはやや不十分です。無駄遣いをしていないか、まだ使えるものはないか、事務用品をはじめ身の回りのものから今一度確認してみてください。

### 取組評価

3R全体の取組は、やや優れています。水準を上回っていますが、さらなる取り組みの実施をお願いします。本レポートのアドバイスもご参考ください。

## 発生量評価

令和 4 年度		▶	次年度目標	
評価	発生量		評価	発生量
<b>D</b>	331.7トン		<b>C</b>	323.210927トン
	原単位			原単位
	3.951 kg/m <sup>2</sup>			3.850 kg/m <sup>2</sup>

--

他の事業所に比べ、発生量抑制の取り組みが非常に良くできています。

⑫ペットボトル	-	-	-	-
なし	-	-	-	-

他の事業所に比べて発生量が多い項目です。

評価を上げられるように発生量削減の可能性がないか検討してみましょう。

廃棄物種類	今年度評価	今年度発生量	▶	目標発生量
①コピー用紙・OA用紙	D	13.500 トン	▶	8.395 トン
⑧厨芥類	D	51.200 トン	▶	39.877 トン
⑪飲料用缶	D	7.100 トン	▶	6.464 トン
⑮その他不燃物（廃プラ等）	D	59.900 トン	▶	39.373 トン
-	-	- トン	▶	- トン

廃棄物種類	評価	廃棄物種類	評価
①コピー用紙・OA用紙	D	⑨その他可燃物（木・草・繊維等）	***
②機密文書類	B	⑩飲料用びん	E
③雑誌等	***	⑪飲料用缶	D
④新聞、チラシ	B	⑫ペットボトル	A
⑤段ボール	E	⑬食用油	***
⑥ミックスペーパー	***	⑭弁当がら	***
⑦その他紙類	E	⑮その他不燃物（廃プラ等）	D
⑧厨芥類	D		

\*\*\*：発生量ゼロ

## 再利用率評価

令和 4 年度		▶	次年度目標	
評価	再利用率		評価	再利用率
<b>C</b>	<b>53.7%</b>		<b>B</b>	<b>65%</b>

--

他の事業所に比べ、再利用の取り組みが非常に良くできています。

①コピー用紙・OA用紙	②機密文書類	④新聞、チラシ	⑤段ボール	⑩飲料用びん
なし	なし	なし	なし	なし

他の事業所に比べて再利用率が低い項目です。

評価を上げられるように再利用の可能性がないか検討してみましょう。

廃棄物種類	今年度評価	今年度再利用率	▶	目標再利用率
⑦その他紙類	<b>D</b>	25.9 %	▶	45 %
—	—	— %	▶	— %
—	—	— %	▶	— %
—	—	— %	▶	— %
—	—	— %	▶	— %

廃棄物種類	評価	廃棄物種類	評価
①コピー用紙・OA用紙	S	⑨その他可燃物（木・草・繊維等）	—
②機密文書類	S	⑩飲料用びん	S
③雑誌等	—	⑪飲料用缶	S
④新聞、チラシ	S	⑫ペットボトル	S
⑤段ボール	S	⑬食用油	—
⑥ミックスペーパー	—	⑭弁当がら	—
⑦その他紙類	D	⑮その他不燃物（廃プラ等）	C
⑧厨芥類	C		

\*\*\*：発生量ゼロ